

こんにちは! 日本共産党長野市議団です

2024年9月定例議会報告

発行／日本共産党長野市議員団
〒380-8512 長野市緑町1613
長野市役所内 日本共産党控室
TEL・FAX 026-266-7882
E-mail nsjcp@mx1.avis.ne.jp
HP <http://www.naganojcp.assrv.com/>



B-1 まちづくり勉強会

希望ある長野市政実現へ、市民と共に

9月定例会が9月5日から10月2日まで開かれ、一般質問を佐藤たかし、野々村ひろみ、黒沢清一各議員が行いました。また、令和5年度決算特別委員会も開かれました。滝沢しんいち、あでがわ希両議員は常任委員会などでそれぞれ活躍しました。

令和5年度決算に反対

以下6つの理由から、党市議団は令和5年度決算に反対しました。①自衛隊への適齢者（18歳・22歳）の名簿提供はするべきでない ②学校教育の副読本が「あけぼの」で固定されており、他の選択肢も考えるべき ③高すぎる国保料を下げるため法定外繰り入れを増額するべきだった ④みらいハッケンプロジェクトはモデル事業での検証が不十分だった ⑤スポーツ中心とした街づくりによる経済効果が未検証のまま進められている ⑥タワマン建設を中心とした長野駅前B-1再開発事業への税金投入に反対。

社会体育館の有料化における根拠を追求

社会体育館を有料化する案（1コマ2時間あたり2700～3500円）について、その算出根拠の大部分を占めるのが冷暖房設備費用です。モデルとなったのは水害で被災

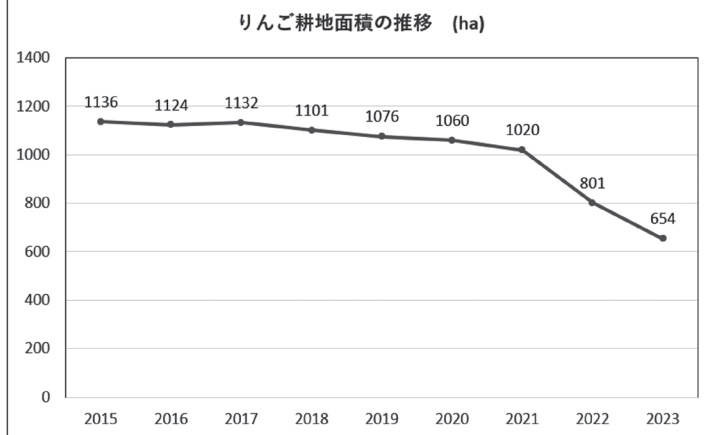
し、国からの補助金を活用した長沼体育館です。1館当たり約4400万円かかりました。一方、小学校の体育館へ冷暖房設備を設置するのにかかった金額は1館当たり約1100万円。こちらで試算すればもっと減額できたはず。こんな大雑把な計算で市民に使用料を求めるべきではありません。

激減するりんごの耕地面積 農業を守るべき

長野市のりんご耕地面積が21年からの2年間で1020→654haと激減している事が判明しました。農業を守るため価格補償・所得補償を進めるべきと訴えましたが、市は独自の補償については後ろ向きな答弁

りんご耕地面積の推移

長野市の農林業（平成28年版～令和6年版）より佐藤作成 小数点以下四捨五入



でした。

新友会のみとの農政懇談会は中止すべき

長野市議会新友会のHPの活動報告によると農政懇談会と称して長野市農業協同組合協議会、長野市農業委員会及び長野市経済振興議員連盟の3者による農政懇談会を毎年開催していると記されていました。しかし経済振興議員連盟は新友会そのものです。市議会の最大与党派との癒着ともとれるこのような農政懇談会は中止すべきとし、見解を求めました。監査委員は支出は適切であるとし、市長も適正としました。しかし新友会という一派とのみの懇談を行っていることは市政を歪めるものであり、道義的に許されない予算執行と考えます。

若者から大きな反対の声 産廃焼却施設

信州新町日原橋木地区に、産廃焼却施設の建設計画がすすめられようとしています。

8月26日、信州新町青少年育成協議会と日原西産業廃棄物処理場建設反対会議が、市長に反対署名6904名分を提出しました。計画地は20年前、地元の反対の声

を無視して焼却施設が設置され、その後操業停止しましたが、いまだに大量の廃棄物が残されています。その場所へ再び違う業者が施設を設置しようとしています。

計画地の上流の信級地区には、若いみなさんが、豊かな自然環境を求めて移住・定住しています。このみなさんが中心になって反対署名に取り組み、地元全体に広がっています。この声に応えるべきではないかと質問しました。

環境部長は、「署名による反対活動は、若いみなさんや地域住民の意思として重く受け止めている。また、豊かな自然環境を求めて移住してきた若い皆さんが地域の将来を不安に思っていることも承知している。今後、計画が生活環境に影響がないか十分に確認し、関係法令への適合性について慎重に審査していく」という答弁にとどまりました。

健康保険証の存続を求める

賛成…共産党、無所属3名

反対…新友会、公明党、改革ネット、次世代長野、無所属1名

県保険医協会から提出された「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願の採択を求め、討論を行いました。政府は紙の健康保険証の廃止後、マイナ保険証を持たない人には「資格確認書」を交付し、マイナ保険証を持つ人に

は「資格情報のお知らせ」という書面を配布するとしています。どちらにも保険証と同じ内容が記載されます。保険証を廃止したうえでさらに同様のものを2種類も配布する支離滅裂な施策です。信濃毎日新聞など、全国18の地方紙が行なったアンケートでは、マイナ保険証に一本化してほしいとの回答は約18%、現行の保険証を残してほしいとの意見が80%超。現場の医療関係者や市民の声を国に届けることこそ地方議会の本来の役割ではないかと求めましたが、残念ながら不採択となりました。

副議長選挙所信表明

長野市議会副議長選挙にあたり、

党市議団からは滝沢市議が所信表明を行いました。現在長野市議会では、最大会派である新友会の政務活動費の支出に対し、様々な角度から疑念が持たれています。一点目は政策モニター研修会において、参加者全員に一律3000円の交通費を政務活動費から支給していたという問題。二点目は新友会が長野市経済振興議員連盟という名前を隠れ蓑とし、農業委員会、農業協同組合協議会と共催で農政懇談会を開催し、その会場費に政務活動費を当てていたという問題です。政務活動費の交付に関する条例では議長に対し政務活動費の用途をチェックする役割を記しています。しかし、今回の事例で

は議長本人も支出をした側となっており、使い道をチェックするという役割を果たせないという事態が発生しています。長野市議会が市民から疑念を持たれることが無く、信頼を得られるよう力を尽くしていくと支持を訴え、他の会派や無所属議員からも支持を得て11票を獲得しました。

めざせ！ 住民主権のまちづくり

B-1再開発問題学習会

10月6日「長野駅前B-1再開発問題学習会」をNPO法人区画整理・再開発対策全国連絡会議事務局長の遠藤哲人氏をお招きし開催しました。

①再開発は、不動産開発事業であって「まちづくり」ではない ②再開発のしくみ、土地のゆくえ、補助金のゆくえ ③「公共の福祉」となる「まちづくり」を住民自治ですすめよう、このポイントでお話をされました。

デベロッパーは、組合設立に必要な3分の2の同意を得られるようにさまざまな手立てを取っている。デベロッパーにとっては、補助金が入ること総事業費が安くなり多くの儲けを得ることができる。この事業を真の「まちづくり」にできるかどうかは、自治体と市民の力次第であるという講義がありました。

地元の方も多数参加され活発に意

見交換されました。

多額の税金を投入するのであれば、駅前のまちづくりを市民と共に取り組む姿勢を長野市は持つべきです。

編集後記

ついにここまで来たか・・・先日、市長に予算要望を提出した際、これまでは議員に煎茶を出してくださっていましたが、今回はペットボトルの水がテーブルの上に置かれていました。

働き方改革なのでしょう。議員は誰も水を口にしませんでした。理解できますが何か淋しいものを感じました。心の潤いが無くなる気がします。『二期一会』出合いを大切に、茶道の教えは二度と同じて成しは出来ないとして、その時の一碗に心を込めます。季節を大切に床の掛け、お花、お菓子、器を選び持て成します。自宅に招いた客には間違っても望まれない限り、ペットボトルの水を置かないことを望みます。

(事務局 角井)



(団 長)
野々村ひろみ

- 福祉環境委員会
- 議会運営委員
- 水道事業広域化調査研究特別委員会



(副団長)
黒 沢 清 一

- 経済文教委員会委員長
- 中山岡地活性化調査研究特別委員会
- 千曲衛生施設組合議会議員
- 長野市都市内分権審議会委員



(幹事長)
滝沢しんいち

- 建設企業委員会
- 公共交通対策調査研究特別委員会委員長
- 長野広域連合議会議員



あでがわ 希

- 総務委員会
- 水道事業広域化調査研究特別委員会
- 広報広聴委員会
- 長野市社会福祉審議会委員



佐藤 たかし

- 経済文教委員会
- 公共交通対策調査研究特別委員会
- 長野広域連合議会議員
- 長野市都市計画審議会委員